

平成 15 年度の事業計画（委員会活動）

（平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで）

（ 1 ） ハードウェア委員会（定款事業 第 4 条の 1 項及び 2 項）

● 活動方針

- ・ 電子電気楽器及び機器の安全、環境保全にかんする技術、法律、規格問題の調査研究を、各専門部会が主体性をもって推進する事によって、会員の専門知識や技術向上を目指すものとし、もって電子電気楽器及び機器市場における更なる信頼性を確保する事により事業経営の安定に寄与することを目的とする。

（安全規格部会）（定款事業 第 4 条の 1 項及び 2 項）

1. 音楽電子楽器、機器の IEC 安全性自主依頼検査の推進（運営方式の見直し、目標 6 件）
2. 安全規格関連の規格と変動状況についてタイムリーな情報入手と会員への情報提供
3. EMC（電波障害）関連の状況調査と情報提供
各国規制動向を調査し会員への情報提供、CISPR I（国際規格）検討への積極的参加
4. PL 関連情報の提供、家電製品 PL センター（生活用品 PL センターとの兼合）の取扱い検討
5. 基礎技術資料の整備、用語集の整備
6. 製品安全に関する勉強会の実施

（環境問題研究部会）（定款事業 第 4 条の 1 項、及び 2 項）

1. 内外の環境に関する法・規制等の動向や情報を把握、会員会社にタイムリーに情報を提供する。
2. 電子楽器として必要な環境課題に対し、見解を統一し対応を図る。
資源有効利用促進法の動向、ヨーロッパの廃家電製品・電子機器の規制動向、地球温暖化問題対応の動向、日本の家電リサイクル法の動向、容器包装リサイクル法の動向、各国の化学物質の規制動向、等
3. EC 指令（WEEE & RoHS 指令）の勉強会
4. 容器包装リサイクル法への対応、識別表示への対応についてのアンケート

（全体課題）

- ・ 書類管理方法の検討

（ 2 ） MIDI 規格委員会（定款事業 第 4 条の 3 項）

● 活動方針

- ・ MIDI 規格の積極的な他業種への応用推進及び啓蒙活動
- ・ 新規規格への対応
- ・ 資料の整備、会員及び一般ユーザーへの情報開示促進
- ・ MMA との連携強化

1. 新規規格への取り組み
DLS（ダウンローダブルサウンド）規格のモバイルへの応用のため応用検討部会とモバイル MIDI 部会共同で WG を発足。
2. MIDI 規格書の整備（規格検討部会）
WG を発足、MIDI20 年記念行事として、最新仕様の規格の集大成をまとめる。
CD-ROM の制作（英文/和文）
3. MIDI ガイドブックの作成
コンシューマー向け MIDI ガイドブック出版（楽器フェアに向けて）

4. MMA との連携強化、審議検討のスピードアップ
2004 年 NAMM ツアーの実施 (MMA1 総会への出席)

(3) 著作権・ソフト委員会 (定款事業 第4条の1&4 項)

● 活動方針

- ・ NMRC (ネットワーク音楽著作権連絡協議会) 活動を通じて、各管理事業者との懸案事項の協議交渉を、AMEI 会員の意向を反映し行う。
- ・ 定例会を年 10 回開催し、各部会の諸課題を検討、協議する。あわせて、年 5 回の勉強会あるいはセミナーを開催する。
- ・ モバイル・インターネット関連事業者の AMEI 会員化

(部会共通課題への対応)

1. JASRAC の NM 曲使用料
2. ストリーム配信料の管理事業者間の按分
3. 映像を伴う音楽配信使用料
4. 着信メロディの氏名財産権
5. 新規参入管理事業者への対応

(全体定例会) を 10 回開催、各部会の活動内容の報告及び共通課題の検討、と会員の勉強会のためのセミナーを外部講師を招いて実施 (5 回予定)

(ソフト規格部会) マルチメディア・ソフトウェア・コンテンツを軸とした各種調査、研究を通じ

1. MIDI、音楽電子事業の活性化、普及、標準化活動を行う (ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施)
2. 音楽電子事業に関わるソフトウェアに関する諸問題の検討、そのための WG 活動
3. MIDI 録音物の JASRAC 外の管理事業者に対する諸問題解決の検討と交渉

(カラオケ部会)

1. JASRAC の業務用通信カラオケ使用料規程の見直し
2. ダイキサウンドの使用料規程作成に関する協議

(インターネット&モバイル部会)

1. NMRC 活動を通じ、ネットワーク環境に於ける音楽著作物利用事業の公正な使用料の確立
2. AMEI が曲情報・著作権管理団体コードなど著作権にまつわる情報を一元管理するシステムの構築と会員への使用を提案する。

平成 15 年度著作権ソフト委員会定例会スケジュール

回	開催予定日	時間	セミナー担当部会	備考
1	平成 15 年 4 月 10 日(木)	13:30 ~ 15:00	セミナー なし	活動内容の検討他
2	平成 15 年 5 月 08 日(木)	13:30 ~ 15:30	ソフト規格部会	
3	平成 15 年 6 月 12 日(木)	13:30 ~ 15:00	セミナー なし	
4	平成 15 年 7 月 10 日(木)	13:30 ~ 15:30	インターネット部会	
5	平成 15 年 9 月 11 日(木)	13:30 ~ 15:00	セミナー なし	
6	平成 15 年 10 月 9 日(木)	13:30 ~ 15:30	透かし推進 Project	
7	平成 15 年 11 月 6 日(木)	13:30 ~ 15:00	セミナー なし	
8	平成 15 年 12 月 11 日(木)	15:30 ~ 17:30	モバイル部会	忘年会(18:00 ~)
9	平成 16 年 1 月 08 日(木)	13:30 ~ 15:00	セミナー なし	W.NAMM Show
10	平成 16 年 3 月 11 日(木)	13:30 ~ 15:30	カラオケ部会	

著作権・ソフト委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	佐々木隆一 古川 一夫 和田 康孝 袴 俊雄 戸叶司武郎	(株)ミュージック・シーオー・ジェーピー (株)ユーズ・ビーエムビーエンタテインメント (株)第一興商 (株)ビクター・ネットワークス ヤマハ(株)
カラオケ部会	部会長	古川 一夫	(株)ユーズ・ビーエムビーエンタテインメント
インターネット部会	部会長 副部会長	袴 俊雄 中島 司	(株)ビクター・ネットワークス パイオニア(株)
モバイル部会	部会長 副部会長 副部会長 副部会長	中西 正人 山田 隆司 中村 俊介 袴 俊雄	(株)フェイス (株)三愛 ギガ・ネットワークス ヤマハ(株) (株)ビクター・ネットワークス
カラオケ部会 インターネット部会 モバイル部会	共通顧問	青山 輝夫	(株)エクシング
ソフト規格部会	部会長 副部会長	原 正樹 福田 誠	(財)ヤマハ音楽振興会 カシオ計算機(株)

(4) 透かし推進プロジェクト (定款事業 第 4 条の 3 項&4 項)

● 活動方針

- ・ AMEI が提供する「標準 MIDI 電子透かし」(第一層)埋め込みツールである MIDIsign を会員企業が使用するように促進し、MIDI データ作成販売における権利保護の仕組みを構築する。
- ・ 共通透かしの利用によりデータの違法複製抑止、並びに権利者からの円滑な許諾を得て業界の発展に寄与する。
- ・ 具体的活動：年 10 回のミーティング開催

1. 第 2 層との親和性検討の手法について検討
2. MMA への技術面の説明 データ制作ガイドブックの作成 (英語版)

3. ISMC 規格の活用会員の増大の為の P R、解説書の作成
 - 技術、開発面におけるメンテナンスと会員各社へのコンサルティング
 - ISMC 規格の仕様書や内容説明書、MIDIsign エンコーダーの使用方法的な情報提供
4. 経済産業省の EDI 実証実験に参加、連携（コード体系の連携）

（ 5 ） デジタルレコーディング委員会（定款事業 第 4 条の 4 項）

- 活動方針
 - ・ 年間 10 回の定例会を持ち、メーカー間の技術的連携をとり、その活動成果の積極的活用を行うと共に必要情報をユーザーへ告知する。
- （ 具体的活動 ）
 1. 初刊から 5 年が経過した「これで解かったデジタルレコーディング(AMEI 監修)」の改定（各委員で分担）
 2. 「デジタル・レコーディングに関する知識情報」の提供をホームページ掲載を継続推進。ハンドブックからも抜粋し、より具体的な内容とし、問題点をユーザー自身が解決できる事を目標に情報を追加する。
 3. 委員会メンバーの知識向上のための勉強会、講習会の実施。各社機器の組み合わせによる動作の検証を行なう。必要に応じホームページ上での公開。

（ 6 ） デジタルコンテンツ推進委員会（定款事業 第 4 条の 4 項）

- 活動方針
 - ・ 音楽、音響をはじめ映像関連などコンテンツ制作やインフラに関わるトピックスや人材を AMEI 会員にセミナーで紹介して行く。
- （ 具体的活動 ）
 1. 年 3 回のデジタルコンテンツ関連セミナーの開催
（ DVD 市場の現状、立体音響制作関連、ブロードバンド等）

（ 7 ） MIDI 認定制度研究委員会（定款事業 第 4 条の 4 項）

- 活動方針
 - ・ MIDI 検定制度の社会的認知の向上。
 - ・ MIDI 検定制度の量の安定拡大と質の向上
- （ 具体的活動 ）
 1. 「第 6 回 MIDI 検定試験 3 級」「第 5 回 MIDI 検定試験 2 級」の実施
 - 筆記試験 平成 15 年 12 月
 - 実技試験 平成 16 年 2 月
 2. 「MIDI 検定 4 級のシステム」の拡大
4 級指導者の倍増（指導者養成講座に 100 名の新規受講者を）
 3. ホームページ midilicense.com の内容充実
 - ライセンサーの活動状況の紹介
 - ライセンサーの制作作品の紹介
 - 誌上セミナー
 4. MIDI 検定合格者の為の特別セミナー
 - MIDI20 年記念イベント：楽器フェア期間中にソフト制作会社の責任者を講師に迎えセミナーを実施する。

(8) 事業委員会

● 活動方針

- ・ 2003 年楽器フェア出展を通じ、MIDI20 周年を迎えた「MIDI」と「AMEI の事業内容」の認知及び MIDI の啓蒙・PR を計る。

(具体的活動)

1. 2003 年楽器フェア(10 月 23 日～26 日みなとみらいパシフィコ横浜)に「MIDI MUSIC SEQUENCE FESTA」として AMEI がブースを出展、アップルコンピュータ(株)の協力を得て Macintosh Music Solution を中心に、JSPA と出展各社によるシーケンスソフトのデモ、シンセサイザーやシーケンサーのピンテージモデル等の展示、デモを行う。
2. 楽器フェア期間中の MIDI 検定合格者特別セミナーの実施、応援。

(9) 広報委員会(定款事業 第 4 条の 4 項)

● 活動方針

- ・ 外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、公益団体としての当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

(具体的活動)

1. 通常版、会報「AMEI News」を平成 15 年 4 月、10 月、平成 16 年 2 月の計 3 回発行する。
2. MIDI20 年記念イベントのパーティの「AMEI News 特別版」を平成 15 年 7 月に発行する。
3. MIDI20 年記念ロゴマークの制定、楽器フェア、シンポジウム等用にステッカーなどを作成しユーザー等に配布する。また楽器フェア展示表示、AMEI の印刷物等に使用する。
4. ホームページの充実
 - 英語版ページ
 - 各委員会のページ

(10) 海外視察団の実施(定款事業 第 4 条の 5 項)

- ・ MIDI 規格委員会主催にて

1. 米国 NAMM 視察団の実施(平成 16 年 1 月)
 - NAMM ショウ(1/15～1/18)
 - 音楽電子事業の視察、情報収集
2. 米国 MMA 総会出席及びプレミーティング実施(視察団)
MMA との協議、情報交換 事項

以上

MIDI 規格誕生 20 年記念イベント計画

(Project MIDI 20)

主たる事業・活動計画

活動方針

MIDI 規格 1.0 が制定され具体的に MIDI を組み込んだ商品が市場に登場以来丸 20 年経過した現在、関連する業界が中心となってこの快挙を振り返り、MIDI 規格自体の今後の更なる発展と幅広い応用にむけて推進して行くために関連業界の協力の下に、今年度の楽器フェアの開催とも歩調をあわせて、且つ今後の更なる積極的な他業種への応用展開及び啓蒙活動を促す意味でいくつかの活動を計画し年間を通じて、運営実行する。

事業計画

1) MIDI 誕生 20 年記念懇親会の開催

- 5 月開催予定の第 7 回 AMEI 通常総会の後、総会懇親会と合体して実施する
- これまでの MIDI 関連業務への貢献者を幅広く招待する

2) “MIDI 20 年”記念ロゴマーク の設定と活用

- キャッチコピー、ステッカー等
- 規格制定 20 周年記念会報 (特別号) (関係者インタビュー) の発行

3) MIDI 誕生 20 年記念シンポジュームの開催

- テーマ: “MIDI の新たな活用・応用“
- 楽器分野を超えた新次元分野への応用の可能性と挑戦、その為には?
- 異業種各分野からパネラーを人選する (含む諸外国要人)

4) MIDI ガイドブック改訂版の作成・出版

- コンシューマー向け MIDI ガイドブックの出版
- MIDI 規格書の最新版を CD-ROM で出版 (会員企業対象の有償販売)

5) MIDI 歴代代表楽器の展示・デモ演奏の実施 (楽器フェア内)

- MIDI Software Sequencer の展示とデモ
- MIDI Vintage Model の展示、解説、デモ演奏